

11月 モニターレポート		担当出張所	木津川出張所
担当区間	区間14：木津川中流両岸11.5キロ。		
モニター実施日時	令和2年11月3日（祝）AM8時		
天候	晴れ		

（見出し）

今月は、開橋から下流域の玉水橋付近までの両岸をモニターしました

私が担当する泉大橋から玉水橋あたりの流域では  
左右の河川敷に田畑や茶畑が広がっているのが特徴的です  
果樹・野菜の栽培に有効活用されている様子が  
いつも国道24号線から見てとれ、興味深い景観です



こういった堤防内の土地（専門用語では高水敷というようですが…）は、～いったい誰の所有で維持管理はどのようになっているのか～一度聞いてみたいな、とずっと思っていたところ、8月レポートの感想で「私有地」との記載があり、少々驚きました木津川と堤防（サイクリングロードなど）は木津川出張所の管理区域なのにその間の土地が個人のものだなんて!! 本当にびっくりです

さて萩ノ門樋門の様子です



24号線のすぐ下に位置する樋門周辺にはありとあらゆるゴミが大量に落ちていて、見苦しいものでした



たぶん車から投げ捨てられたのではないかと、思います



先月モニターした大川樋門がとても綺麗だったので  
違いに驚いています

すぐそばの不動川と天神川に河川の管理分界点の標識がありました





木津川に注ぐギリギリのところで管理者が変わる、という案内板のようです  
だとすると、不動橋と天神橋は京都府土木事務所ではなくて  
国土交通省・木津川出張所の管轄となるわけでしょうか  
少し複雑な組織体制ですが、ある意味合理的なしくみだと思います

巡回していて思ったことですが  
木津川流域の全ての施設や建造物に  
それぞれ管理者の名称が書いてあるのも、  
素早い連絡体制と、のちの維持管理を容易にするためでしょうか  
今回モニターに選ばれ、今まで全く知らなかったことが学べて、  
とても有意義な1年になっています

開橋と玉水橋の間にある棚倉排水樋門です



国道24号のすぐ下の草むらには  
空き缶が落ちていました



来月からはビニール袋を持参して  
ゴミ拾いを兼ねて回ってみるのもいいかな、と思っています

以上で今月の報告を終わります  
来月は玉水橋から山城大橋までをモニターしたいと思います。

(意見・感想・処置等)

今回もモニターレポートをありがとうございます。報告の写真にもありましたように、ゴミのポイ捨ては本当にやめてほしいですね…。

戦前に木津川改修が行われ、川幅を広げるために堤防を現在ある場所に移動させて造りかえられました。これを引堤（ひきてい）といいます。旧堤防は耕作地より川側にあり、少しだけ高くなっていて今は農道として使われているところが多いです。堤防の川側に私有地・耕作地があるのはそのためです。

また、支川の不動川は天井川で、JR奈良線はこの川の下を走っています。ご存知かもしれませんが、昭和28年の南山城水害の時は破堤して、この周辺は大被害を受けたそうです。

これから寒さもますます厳しくなってきます。防寒をしっかりなさって次回のモニター活動をよろしく願いいたします。楽しみにしています。